

箱根組ニュース

第362号 2023年 6月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

奥多摩・六ツ石山に4人！ 終日先頭は神山さんが引く張る。緑とつつじの赤を堪能！

5月21日(日)、前日までの雨は収まり、まずまずの天気。

東京駅発5時44分の快速高尾行きに乗り込む。立川には6時31分着。6時35分発の青梅線に乗り換え、青梅で奥多摩行きに乗り換える。

奥多摩着7時46分、沢山の人がバス停に向かう。7時56分の峰谷行きに乗り込む。あつという間にバスはいっぱいになり。乗れない人が大勢いた。すると臨時の奥多摩湖行きが隣に到着する。昔はほとんど臨時が出なかったが、今は対応が素晴らしい。

せっかく乗ったが座れてはいないので隣のバスに移動する。無事座れて出発。奥多摩湖手前の水根バス停に8時10分頃到着。横をたくさんさんのバイクが通る、ツーリング日和なのだ。

バス停横の広いところで各自ストレッチをする。

8時19分、出発。神山さん先頭。車道を渡って沢の横からまずはむかし道を進んでゆく。緩やかな坂道だが神山さ

んのペースが素晴らしい。早すぎるくらいで追いつかない。

8時27分、右に六ツ石山、奥多摩駅と標識にある。奥多摩駅まではむかし道を通って9.5キロだ。少し高くなつて右を見ると奥多摩湖の湖面が見える。ダム of 堰堤も見え、3月の御前山へのルートが見える。民家の横を過ぎると左側に六ツ石山登山口の看板。マーガレット？またはデイジーが可憐にたくさん咲いている。

8時44分、民家の横から歩き出す。奥多摩の急坂のはじまりだ。水道施設の横を通ってゆく。左の畑は栗や梅が植えられている。ヒノキの植林地の急な斜面に九十九折れに道が付いている。

8時54分、水根産土神社。地元の小さな神社だ。ガラス戸を開けて4人分お賽銭を投げ入れる。林のなかにはヒトリシズカ、フタリシズカ？が咲いている。植林地はかなり長く続いている。

9時41分、左側が自然林になる。緑に癒される。その中に時折つつじの赤が



美しく見えている。緑の中の赤い色が一際目立つ。

9時45分、ピークで休憩。長い急な道を1時間ほど歩いてきたので長めの休憩をとる。

9時59分、出発。植林地はまだ少し残っているが、やがて両側が馬酔木の道になる。

10時5分、小さな祠にワインのボトルと日本酒が備えてあるが、瓶は色あせている。なおも急な植林地を登って行く。ガスが濃くなってきた。

10時半を過ぎると完全に自然林になる。霧の中の雑木林も悪くない。右足下りの傾斜の道を進む。落ち葉がいっぱいだ。

10時59分、トオノクボ到着。小休止。水根からは3分の2ほどの距離だろう。広くなっていてまさに窪という感じだ。ルート標識のところからは、防火林になつて

いるのだろう。広々として、気持ちがいい。美味しそうなワラビが目立つ。マルバダケブキの大きな葉がたくさんあつて

とても目立つ。多分鹿はあまりこの葉を好まないのだろう。雲取山からの石尾根と似ているがここは石尾根ではない。六石頂上を超えてからが雲取からつながる石尾根だ。

再出発、マルバダケブキの間を九十九折れに登って行く。両側は自然林だ。山つづじの赤がきれいだ。足元には薄紫のつつじの花びらが落ちていてカーペットのようになっている。ミツバツツジの花びらのようだ。最後の一登りを超えてゆく。

11時50分、六石山(1478.8m)に到着。

12時を目標にと思っていたがそれより少し早く到着した。若者が3人、シャッターを押してほしいのと。これから鷹ノ巣に行つて奥多摩湖に降りるらしい。二十歳前後の3人組だった。標識の斜め裏あたりに陣取つて昼食。持ち寄りのお弁当にお惣菜。神吉さんの梅酒がありがたかった。

6月18日(日) 御岳山長尾平で野草天ぷら

らくだコース 歩行約2時間

途中で野草を採って、長尾平で天ぷらパーティーです。

※お弁当は要りません。(うどん、そばを作ります) ※水道がないので水は多めにお持ちください。

○持ち物 ポットにお湯、食器、箸、カップ、飲料水、非常食、傘、雨具、着替え、タオル、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 6月16日(金) ※だしつゆ、うどん、そばなど持参できる方はお知らせください。

集合 6月18日(日)

JR 新宿駅(11番線) 7:44 発
ホリデー快速おくたま3号 青梅行き
(前から3両目)

途中駅発 中野8:49 三鷹8:58 国分寺8:05
立川8:12 西立川8:16 拝島8:28

青梅8:44着(乗り換え) 8:46 発

ホリデー快速おくたま83号奥多摩行き

御嶽8:59着(バス乗り換え)

9:59 発 ケーブル下行き

9:22 着(ケーブルカー乗り換え)

交通費 新宿～御嶽 片道 945 円

ケーブルカー往復 1,130 円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



午後1時、下山開始。約3時間のコースで石尾根で奥多摩駅を目指す。

1時5分、石尾根縦走路分岐。左に行けば鷹ノ巣山から雲取山へ。右の奥多摩駅を目指します。

緩やかに下っていて歩きやすいが時折名前の通り岩だらけの尾根になり「石尾根」を実感する。昔、雲取山から下ってきたときのことを思い出した。ルート横のつづきが美しい。

1時47分、右に三ノ木戸林道經由奥多摩駅のルートが分かれるがそのまま尾根を直進で下る。緑の自然林をひたすらに下ってゆく。時折みられるつつじの赤色に励まされる。

3時9分、右に三ノ木戸方面の標識。道は左に折れるように曲がってゆくが、

これが奥多摩駅方面だ。ヤマアジサイだろうが白く可憐な花がきれいだ。

3時14分、木の橋がかなり腐っていて危険なようだ。十分気をつけて下るが、神山さんが少し足を踏み外したが無事だった。

3時29分、林道に出る。ここまで山頂から2時間半。まだ奥多摩駅までは1時間ほどある。5分ほど歩くと左側に看板が現れる。「東京農業大学奥多摩演習



林」とある。

3時54分、羽黒三田神社。すぐ横に羽黒山という608.8mの山があるが、この地域の神社だ。なかなか立派な社だ。抜け道を通ると、地元の人がたくさん出ていて地域の道の整備をやっているようだ。終わってご褒美のビールやジュースを持って帰る姿が見られた。集落を通過すると地元の人と会話することができた。蝋梅の実がついていたが、知らない人が多かった。

4時20分、青梅街道に出る。橋を渡ると左側にちよつとした居酒屋が並んでいる柳小路の入り口へ入ってゆく。3月、御前山の帰りに「居酒屋しんちゃん」に寄って、不思議な楽しい体験をしたので期待が膨らんだが、臨時休業だった。その先の地ビールのお店「ヤナギコージ」に入る。外のオープンテラスが人気らしくて満席だったが、店内のテーブルは空いていたのでそこに落ち着く。

地ビールにソーセージやその他のおつまみを頼んでおしゃれな感覚で楽しんだ。居酒屋とはまた違った今風の感覚だ。

上り3時間、下り3時間半のコースを歩いた充実感で岐路に着く。まだこのくらしいコースは大丈夫のようだ。

